

まるごと信州
黒曜石ガイドブック



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

発行

長野県文化財活用活性化実行委員会
(長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課内)
TEL.026-235-7441 FAX.026-235-7493
e-mail:bunsho@pref.nagano.lg.jp



平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)



まるごと信州
黒曜石ガイドブック

—信州ブランドの元祖!黒曜石が築いた旧石器・縄文時代の文化財をたどる—



長野県教育委員会



はじめに

火山が生み出した天然ガラスである黒曜石は、約3万年前の旧石器時代から縄文時代、そして弥生時代の中頃まで石器の材料として使われてきました。鋭い切れ味をもつ黒曜石は、利器の素材として優れた石材ではありますが、それとともに黒曜石の耀きは私たちの心をひきつけてやまない魅力を持っています。キラキラと光る「矢じり」を畑でみつけた思い出のある方もいるかもしれません。

火山国である日本列島には、北海道から九州まで100ヶ所以上の黒曜石原産地があるといわれています。そのなかでも信州・長野県の中央部に位置する和田峠・霧ヶ峰から八ヶ岳にかけての地域は、本州最大規模を誇り、長野県のみならず全国的にも代表的な黒曜石原産地です。

本州最大の黒曜石資源を有する黒曜石原産地の周辺には、3万年前の旧石器時代から遺跡が密集します。縄文時代になると黒曜石を採掘した黒曜石鉱山や黒曜石流通の拠点と考えられる遺跡、そしてそれを利用して生活を営んだ多くの集落遺跡が諏訪湖周辺から八ヶ岳山麓に展開します。

この信州産黒曜石は、長野県において、旧石器時代と「縄文王国」と呼ばれるほど多数の遺跡を生み出した縄文時代の繁栄を支える礎のひとつとなりました。黒曜石原産地及びその周辺地域には、数多くの国史跡、国宝、重要文化財などの指定文化財がみられているのもその繁栄ぶりをあらわしています。また、これらの信州産黒曜石は、理化学分析によれば県外各地に運ばれていたこともわかってきています。黒曜石は、「元祖!信州ブランド」として各地を席卷していたのです。

本冊子では、このような「黒曜石」をキーワードとして、黒曜石原産地を中心とした地域の旧石器時代から縄文時代の主な史跡や出土品を紹介いたします。

多くの県民の皆様にも、「元祖!信州ブランド」である黒曜石とそれに関連する文化財に興味を持っていただき、遺跡探訪の一助となれば幸いです。

長野県教育委員会

まるごと信州 黒曜石ガイドブック

—信州ブランドの元祖!黒曜石が染いた旧石器・縄文時代の文化財をたどる—

Contents
もくじ



02 ▶ 元祖!信州ブランド [信州産黒曜石]



04 ▶ 信州黒曜石原産地

06 ▶ 信州黒曜石原産地利用のはじまり

08 ▶ 国史跡 星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)

10 ▶ 国史跡 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)

12 ▶ 国天然記念物 霧ヶ峰湿原植物群落(諏訪市、下諏訪町)

13 ▶ 国史跡 駒形遺跡(茅野市)

14 ▶ 国史跡 上之段石器時代遺跡(茅野市)

15 ▶ 国特別史跡 尖石石器時代遺跡(茅野市)



16 ▶ 国史跡 梨久保遺跡(岡谷市)

17 ▶ 国史跡 阿久遺跡(原村)

18 ▶ 国史跡 井戸尻遺跡(富士見町)

19 ▶ まだまだあります!史跡、国宝、重要文化財

20 ▶ 国史跡 平出遺跡(塩尻市)

21 ▶ 国史跡 矢出川遺跡(南牧村)

22 ▶ 国史跡 栃原岩陰遺跡(北相木村)

23 ▶ 国史跡 大深山遺跡(川上村)



24 ▶ 重要文化財・登録有形文化財の出土品

26 ▶ 国宝・重要文化財の土偶

27 ▶ 黒曜石の研究機関

28 ▶ 本文で紹介している遺跡・博物館

※本書に掲載した写真は、各市町村教育委員会及び関係機関から提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

諏訪湖の北側、和田峠から霧ヶ峰・八ヶ岳にかけての約30km圏内に黒曜石原産地が集中しています。主な黒曜石原産地としては、長和町・下諏訪町にまたがる和田峠、長和町の星糞峠、下諏訪町の星ヶ塔や星ヶ台、茅野市の冷山、佐久穂町の麦草峠などがあげられます。

こうした原産地周辺の諏訪地域や小県地域、佐久地域には、黒曜石を採掘した鉱山や石器の製作・流通の拠点遺跡、そして消費地である多くの集落遺跡が集中しています。

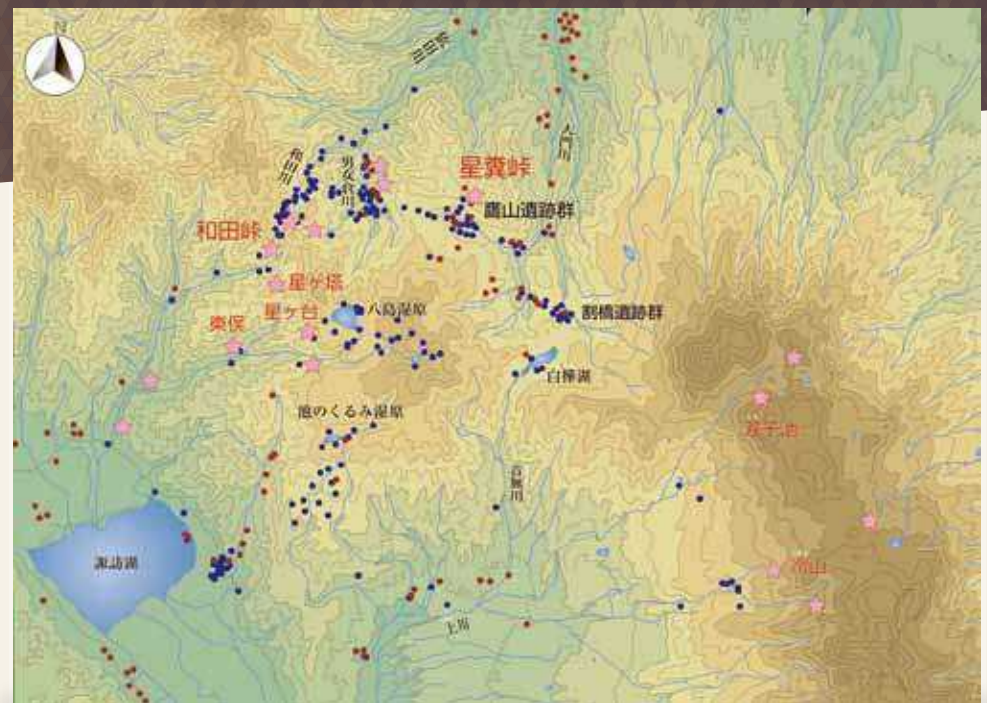
黒曜石を採掘した縄文鉱山としては、星糞峠黒曜石原産地遺跡(長和町)と星ヶ塔黒曜石原産地遺跡(下諏訪町)があり、駒形遺跡(茅野市)は石器製作や流通の拠点遺跡、交通の要所に位置する上之段石器時代遺跡(茅野市)は東西文化交流の拠点とそれぞれ考えられています。いずれも国史跡に指定されているものです。



元祖！ 信州ブランド 「信州産黒曜石」

黒曜石原産地を取り囲む地域には、国特別史跡の尖石器時代遺跡を含めて、梨久保遺跡(岡谷市)、阿久遺跡(原村)、井戸尻遺跡(富士見町)と他にも4つの国史跡を数えるなど、「縄文王国」、「縄文の聖地」と呼ばれるにふさわしい縄文遺跡群です。

黒曜石は、蛍光X線を用いた理化学分析により、その産地が推定できます。その分析結果によれば、信州産黒曜石は、旧石器時代・縄文時代に長野県のみならず、関東・中部地方を中心に、遠くは青森県の三内丸山遺跡からも信州産黒曜石の出土が確認されました。北は青森県、西は奈良県まで広い範囲で石器の原料として使用されていたことが判明しています。このように信州産黒曜石は各地に運ばれ、盛んに使用されていました。「元祖！信州ブランド」は黒曜石だったのです。



長野県の黒曜石原産地

★主な黒曜石の産地 ●旧石器時代の遺跡 ●縄文時代の遺跡
提供：黒曜石体験ミュージアム



信州黒曜石原産地

信州黒曜石原産地には30か所におよぶ産出地が確認されています。産状は多様で、火道岩脈、溶岩流、火砕流堆積物の噴出に伴う一次的な産状のほか、一次的な産出地からの崩落などにより、山腹や河岸段丘・河床にみられる二次的な産状などがあります。また、ズリと呼ばれる小型の黒曜石原石が散布する産状では採掘跡があったようです。



火道岩脈 東餅屋(長和町)
和田峠周辺には工業で採掘された黒曜石の岩脈がみられます。



溶岩流 冷山(茅野市)
山の斜面に流れ出した溶岩が高さ5mを越す岩塊となってみられます。付近には石器材料となる石核や尖頭器が採集され、旧石器時代にはこれらの露頭から黒曜石を入手していたことがわかります。1kmほど西の渋川遺跡は石器製作・流通の拠点となっていました。



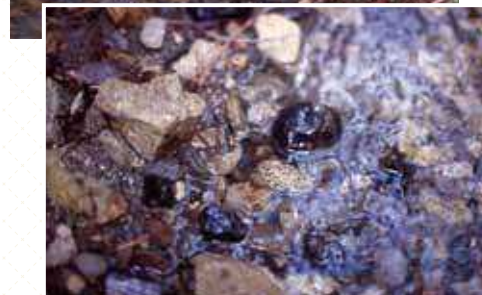
溶岩流 麦草峠(佐久穂町)
原産地周辺の佐久穂町には池の平遺跡、トリデロック遺跡、駒出池遺跡などの旧石器時代遺跡も知られています。縄文時代まで長く使用され続けた原産地と考えられます。



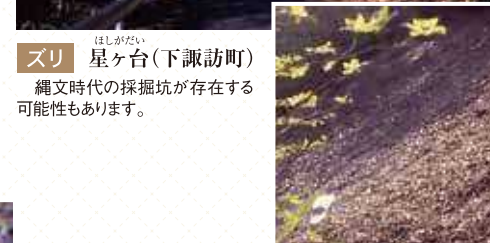
溶岩流 牧ヶ沢(長和町)
男女倉地籍の林道に岩脈の一部が露出しています。



火砕流 三の又沢(長和町)
火砕流堆積物による黒曜石の産出です



河床 砥川転石(下諏訪町)
砥川河床の転石を利用していました。



ズリ 星ヶ台(下諏訪町)
縄文時代の採掘坑が存在する可能性もあります。

文化財の **浅間山の黒曜石**

長野県で火山といえば浅間山が想起されますが、浅間山起源の黒曜石は、質が悪いため石器に使われることはほとんどありませんでした。

b u n k a z a i n o t u b o

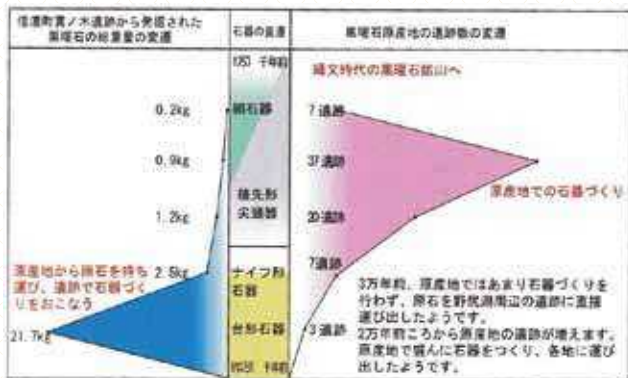


信州黒曜石原産地利用のはじまり

信州の黒曜石はいつごろできたのでしょうか。和田峠から霧ヶ峰にかけては110万年前～70万年前の火山活動で噴出しました。八ヶ岳冷山・麦草峠は10数万年前の噴出で形成されたと考えられています。

信州産黒曜石の利用のはじまりは約3万年前の旧石器時代でした。信州産以外の黒曜石原産地でもこの時期から黒曜石の利用がはじまります。旧石器時代の遺跡が急増する時期でもあります。ただこの時期の遺跡は、産出地の直近に遺跡はなく、やや離れた場所(長和町原遺跡、同追分遺跡、諏訪市ジャコッパラ遺跡)、90kmも離れた野尻湖遺跡群日向林B遺跡や貫ノ木遺跡などで黒曜石が多用されます。産出地ではもっぱら黒曜石を採取し、持ち出していったと考えられます。

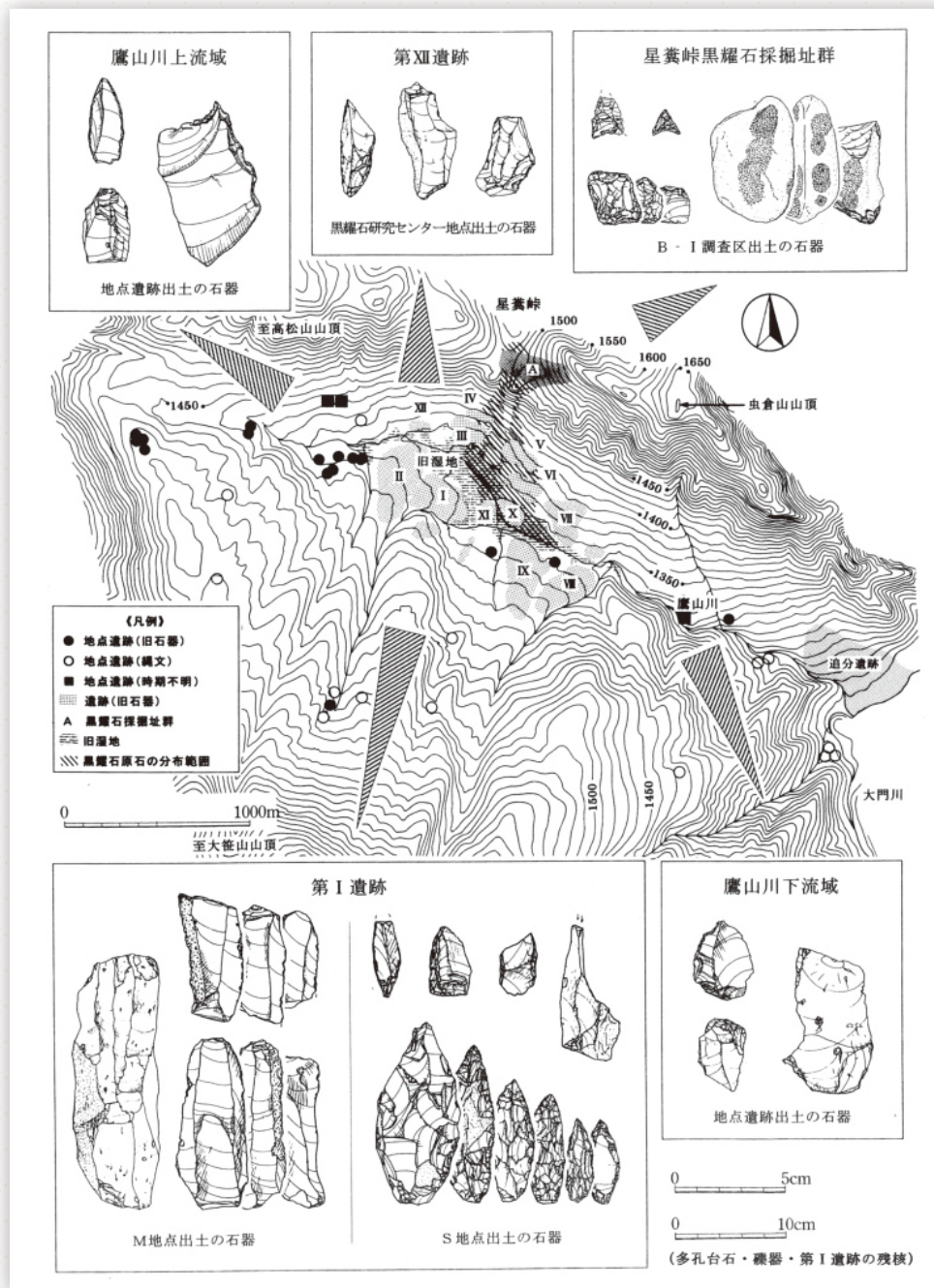
約2万年前になると、黒曜石原産地に遺跡が急増して、遺跡群を形成します。湿地の周辺に形成される湿地遺跡群(長和町鷹山遺跡群、諏訪市八島遺跡群)と河川遺跡群(長和町男女倉遺跡群)に大別されます。遺跡群中には産出地の直近で大量に石器製作を行う大規模遺跡と、遊動生活の中で日常の逗留生活を行った小規模遺跡があったようです。



鷹山第I遺跡M地点の石核
右奥は長さ22.5cmもあり、黒曜石の石核としては本州でも最大級です。(所蔵:長和町教育委員会)



男女倉B地点の石器
右は長さが22cmもある石槍の形をした石器です。ただ部厚く、加工も粗いので、完成品ではないようです。(所蔵:長和町教育委員会)



黒曜石原産地遺跡群の鷹山遺跡群には、湿地の周りに第I遺跡M・S地点をはじめ石器製作を集中的におこなった大規模遺跡(アミ部)があり、そのまた周囲に小規模遺跡である地点遺跡があります。明治大学黒曜石研究センター用地内遺跡発掘調査団2003「鷹山遺跡群VI」より



国史跡

ほしくそとうげこくようせきげんざんちいせき

星糞峠黒曜石原産地遺跡〔長和町〕

こしげ

～縄文時代の黒曜石鉱山～

平成13年指定

霧ヶ峰北東端の小泉郡長和町大門鷹山地区に所在する星糞峠から虫倉山の斜面一帯では、約6万6千㎡の範囲に小型の黒曜石原石と剥片の分布と重なるようにして、径10mほどのクレーター状のくぼみが195基発見されました。このくぼみは縄文時代に黒曜石を採掘した痕跡を示すものです。掘削によって階段状に改変された山の斜面に沿ってくぼみが連なる遺跡の景観は、まさに「黒曜石鉱山」ともいえる大規模な採掘活動が繰り返されていたことを物語っています。

第1号採掘址の発掘調査では、縄文時代早期から地下の白色火山灰層に含まれる黒曜石原石の採掘がはじまり、後期には、掘り捨てられた土砂を幾度も掘り返すようにして無数の竪坑が掘り込まれ、その周囲に積み重ねられた採掘排土でくぼみが形成された様子がわかりました。



第1号採掘址の発掘調査



星糞峠 遠景



白色火山灰層の鉱床に含まれる黒曜石原石



星糞峠産の黒曜石原石

文化財の

しせき
史跡

b u n k a z a i n o t u b o

遺跡は「歴史の舞台となった場所」ですが、このうち将来にわたって保護する必要がある重要なものは、国が史跡として指定し、保存・活用が図られます。地方公共団体でも県史跡や市町村史跡として保護しています。長野県では平成27年10月現在で、特別史跡を含めて国史跡35件、県史跡70件、市町村史跡685件が指定されています。



行ってみよう!



史跡公園として整備を計画しています。遺跡のある星糞峠の麓に黒曜石体験ミュージアムがあり、出土品などを見ることができます。ミュージアムまでは上田駅から車で70分。茅野駅から車で40分。





ほしがとうくようせきげんざんちいせき

国史跡 星ヶ塔黒曜石原産地遺跡〔下諏訪町〕

～岩脈からの黒曜石採掘～

平成27年指定

霧ヶ峰北西部にある星ヶ塔山の東斜面に広がる原産地遺跡で、下諏訪町東俣に所在します。黒曜石原産地遺跡であることは大正時代にはすでに知られ、昭和34～36年の藤森栄一氏らによる調査で黒曜石の採掘跡であることが判明しました。平成9～25年に行われた下諏訪町教委による調査では約3万5千㎡の範囲に黒曜石採掘跡が193箇所も確認されました。縄文時代前期と晩期の採掘坑も発掘調査され、前期には星糞峠と同じく火砕流に含まれる黒曜石を採掘していましたが、晩期には黒曜石岩脈から採掘するようになったことが明らかとなっています。



黒曜石採掘跡(中央のピンボールがくぼみの中心)



縄文時代前期の黒曜石採坑



縄文時代晩期の黒曜石採坑



星ヶ塔黒曜石原産地遺跡



黒曜石の採掘方法

b u n k a z a i n o t u b o

黒曜石の採取方法には、①露頭の岩体を打ち砕いて採取する。②露頭などから剥落し、斜面や河川に転石したものを採取する。③地下の岩体や土層中に含まれるものを採掘する。の3つがあります。③は現在のところ長野県内にしかみつかりません。



採掘された黒曜石原石

行ってみよう!

本史跡は、東俣国有林内にあり、自由に入ることにはできません。見学希望の方は下諏訪町教育委員会(諏訪湖博物館・赤彦記念館)が開催する見学会にご参加ください。(☎0266-27-1627)





国天然
記念物

きりがみねしづげんしよくぶつくんらく

霧ヶ峰湿原植物群落 [諏訪市・下諏訪町]

～旧石器時代の風景が想像できる自然環境～ 昭和35年指定

黒曜石原産地のある霧ヶ峰には、八島遺跡群やジャッコッパラ遺跡群など旧石器・縄文時代の遺跡が存在します。そして八島ヶ原、踊場、車山の3箇所の湿原は国天然記念物に指定されています。植物遺体が腐敗せずに泥炭になる高冷地の湿原を高層湿原といいます。これら3箇所の湿原は、わが国で最南端にある高層湿原であり、特に八島ヶ原の二つのドーム（盛り上がり）は高層湿原の形成過程を示すものとして貴重なものとなっています。



八島ヶ原湿原

文化財の

天然記念物

天然記念物は、学術上貴重でわが国の自然を記念するものとして指定された動物、植物、地質・鉱物、そしてそれらに富む自然保護区です。また、天然記念物は地域の自然と文化の結びつきを知る文化財ともいえます。

bunkazai no tubo

行って
みよう!



JR上諏訪駅から車で40分。
JR佐久平駅から車で80分。霧ヶ峰自然保護センターで霧ヶ峰の自然・文化・歴史・動植物について展示しています。
(☎0266-53-6456)



国史跡

こまがたいせき

駒形遺跡 [茅野市]

～黒曜石の流通拠点～

平成10年指定、平成26・27年追加指定

霧ヶ峰南麓の茅野市米沢に所在します。西に捨沢川が流れ、東には市内最大の湧水量を誇る「大清水」水源がみられます。縄文時代前期から後期まで継続した霧ヶ峰南麓の中核的集落遺跡です。星ヶ台や星ヶ塔などの原産地から約10km下ったところに立地しており、黒曜石の集積、石鏃などの石器製作、搬出にかかわっていた遺跡と推定されています。黒曜石の石器製作技術や交易の実態を知る上で重要な遺跡です。



八ヶ岳連峰

尖石石器時代遺跡

駒形遺跡

出土した黒曜石と石鏃

北西から駒形遺跡を望む

文化財の

縄文プロジェクト

茅野市では、「縄文」の価値をいかしたまちづくりの戦略である「縄文プロジェクト」を推進しています。

bunkazai no tubo

行って
みよう!



JR茅野駅から車で15分。出土品は尖石縄文考古館で保管しています。





国史跡

うえのだんせつきじだいせき

上之段石器時代遺跡 [茅野市]

～東西文化交流の拠点～

昭和17年指定

たてしなさんろく きたやま
 蓼科山麓を見上げる茅野市北山に所在します。古くから知られた遺跡であり、昭和10年代には4回に及ぶ発掘調査が宮坂英弐氏によって行われ、たてあなじゅうきょあと いしがこいろ 竪穴住居跡や石囲炉の他、縄文後・晩期の土器が出土しました。これまでに採集・調査された土器をみると、縄文時代早期から晩期のものがみつかっており、特に後・晩期のものが多いのが特徴です。交通の要所に位置することや星糞峠などの黒曜石原産地にも近いことから、黒曜石の流通・製作に係わる遺跡であると考えられます。



詳細分布調査で採集された黒曜石



遺跡から蓼科山を望む

文化財の **交通の要所**

遺跡は古道の大門街道沿いにあるため、東北信や関東地方、中信などとの交流の要所とみられます。また、みやざか 和田峠やふさかず 星糞峠に通じる経路の入り口に位置しています。東西文化の交流を知る上で重要な遺跡です。

b u n k a z a i n o t u b o

文化財の **宮坂 英弐** (明治20年～昭和50年)

茅野市出身の考古学者。小学校教員を勤めながら、尖石遺跡や与助尾根遺跡、上之段遺跡など諏訪地域を中心に多数の遺跡調査を行う。長野県考古学会初代会長も務める。

列伝 人物 JINBUTSU・RETUDEN

行ってみよう!

JR茅野駅から車で20分。白樺湖までは15分程度で着くことができる。出土品は尖石縄文考古館で保管しています。



国特別史跡

とがりいせつきじだいせき

尖石石器時代遺跡 [茅野市]

～「縄文の聖地」を代表する遺跡～

昭和17年史跡指定、昭和27年特別史跡指定、平成5年追加指定

とよひら
 茅野市豊平に所在する八ヶ岳西南麓を代表する縄文時代中期の集落遺跡です。昭和5年から宮坂英弐氏が独力で発掘調査を進め、全国で初めて縄文時代の集落構造を明らかにした記念すべき遺跡です。長野県で唯一の国特別史跡であり、史跡としては、尖石遺跡と与助尾根遺跡の2遺跡からなります。史跡公園となっており、与助尾根遺跡で6軒の竪穴住居が復元されています。



与助尾根遺跡の復元建物



遺跡名の由来となった「尖石」

文化財の **特別史跡**

特別史跡とは、史跡のうちでも学術上の価値が特に高く、わが国文化の象徴たるものが指定されます。国宝と同格のものであり、「史跡の国宝」といえるものです。

b u n k a z a i n o t u b o

行ってみよう!

JR茅野駅から車で約30分。出土品は史跡公園に隣接する尖石縄文考古館で見ることができます。





国史跡

なしくぼいせき

梨久保遺跡 [岡谷市]

なしくぼ
～梨久保式土器の発見と多量の黒曜石～

昭和59年指定、
昭和61年追加指定

諏訪湖の西北山麓の岡谷長地おさちに所在する縄文時代前期から後期の集落遺跡です。本遺跡から出土した土器は、中部高地の縄文時代中期初頭を代表する「梨久保式土器」として土器研究の基準のひとつとなっています。遺跡は明治時代にはすでに学会に報告されるほど知られていましたが、昭和44年以来、岡谷市教委による発掘調査が行われ、縄文時代の竪穴住居跡が中期を中心として120軒以上が発見されています。3万点を超える黒曜石剥片や原石が出土し、黒曜石の集石もみつかるなど、黒曜石の集積・流通にかかわった遺跡とみられます。



山間地にある遺跡と梨久保式土器



縄文時代中期後半の土器
この時期にも集落が営まれていました。



参考：岡谷市大洞遺跡の黒曜石集石

行ってみよう!

JR下諏訪駅から車で25分。岡谷ICからだ車で15分。出土品は市立岡谷美術考古館で見ることができます。



国史跡

あきゅういせき

阿久遺跡 [原村]

かんじょうしゅうせき
～縄文前期の環状集石群～

昭和54年指定

八ヶ岳西南麓の阿久川あきゅうがわと大早川おおはやがわに挟まれた丘陵上に立地します。昭和50～53年に中央自動車道建設に先立つ発掘調査が行われ、縄文前期の大集落遺跡であることが判明しました。なかでも多数の竪穴住居跡ほうけいや方形柱穴列ちゅうけつれつと呼ばれる掘立柱遺構、祭場さいじょうと考えられる環状集石群などの発見は注目を集めるものです。遺跡の重要性が明らかとなるにつれて保存を求める声が高まり、遺跡は埋め戻され高速道路の下で保存されました。阿久遺跡でも黒曜石の集石がみついています。



発見された環状集石群



現在の阿久遺跡「阿久の森」

文化財の **環状集石群**

中央に立石と列石を伴い、幅30m、径90～120mのドーナツ状にめぐる環状集石群は祭場とみられています。

b u n k a z a i n o t u b o

行ってみよう!

JR茅野駅から車で20分。諏訪南ICから10分。史跡は「阿久の森」として村民の憩いの場となっている。出土品の一部は原村八ヶ岳美術館で展示しています。



国史跡

いとじりいせき 井戸尻遺跡 [富士見町]

～縄文農耕論の発祥地～

昭和41年指定

八ヶ岳南麓の広大な緩斜面の台地末端部にあたる諏訪郡富士見町境に所在しています。本遺跡の周辺には曾利遺跡、藤内遺跡、九兵衛尾根遺跡、居平遺跡など著名な遺跡が集中し、井戸尻遺跡群を形成しています。昭和33年に宮坂英一氏が最初の本格的発掘調査を実施し、昭和35年からは藤森栄一氏は、隣接する曾利遺跡を皮切りに本遺跡を含む周辺遺跡の発掘調査を開始し、縄文時代中期を代表する遺跡のひとつであることが明らかとなりました。史跡公園として復元住居などが整備されています。



井戸尻遺跡公園（広大な史跡公園は人々の憩いの場ともなっています。）

文化財の

井戸尻編年と縄文農耕論

藤森栄一氏の調査成果により中部高地の縄文中期土器群を時期順に位置づけた「井戸尻編年」が組み立てられました。また、縄文時代にはすでに農耕があったと考える「縄文農耕論」発祥の地でもあります。

bunkazai no tubo



ふじもり えいち
藤森 栄一（明治44年～昭和48年）

諏訪市出身の考古学者。諏訪考古学研究所を主宰し、諏訪地域を中心に多数の遺跡の発掘調査にあたる。長野県考古学会第3代会長も務める。

行って
みよう!



JR信濃境駅から徒歩15分。高速道路は小淵沢ICが最寄り。史跡公園として整備されており、隣接地の井戸尻考古館で出土品を見ることができます。



まだまだあります!!

信州の国史跡、国宝、国重要文化財

これまでで紹介してきたもの以外にも、長野県内の旧石器時代・縄文時代の遺跡では7件が国史跡に指定されています。長野県内の国史跡(特別史跡を含む)35件のうち、縄文時代のものは14件と全体の4割以上を占めていることになります。

旧石器・縄文時代にかかわる有形文化財では、国宝2件、「縄文のビーナス」、「仮面の女神」の土偶2箇が国宝に指定されています。国重要文化財には6件が指定されています。なお、長野県内の国宝は8件、国重要文化財の考古資料は10件ですので、本県では旧石器・縄文時代の物件数がきわだっていることがわかります。

また、指定ではなく登録という形で文化財を保護する仕組みとして、国登録有形文化財もあります。建造物が多く登録されていますが、本県では考古資料1件が登録されています。

信州における旧石器・縄文時代の繁栄にはさまざまな要因が考えられますが、そのなかでも信州産黒曜石のブランド力も相当あったことでしょう。

次ページからは、そのなかから指定文化財を紹介していきます。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び数値地図50mメッシュ(標高)を使用しているものである。(承認番号 平成19総保第385号) カシミール3D Ver.7.2.5 を用いて作成

☆主な黒曜石の産地 旧石器時代 縄文時代 黒曜石採掘地群

写真提供: 茅野市教育委員会・富士見町教育委員会・長和町教育委員会
作成: 長和町教育委員会



国史跡

ひらいていせき 平出遺跡 [塩尻市]

～整備された史跡公園～

昭和27年指定

塩尻市の南西、桔梗ヶ原ききょうがはらと呼ばれる平坦地の南に連なる山際そうがにある宗賀平出むねがへいしゅに所在します。戦後間もない昭和22年から考古学をはじめとする調査が行われ、縄文時代、古墳時代、平安時代という各時代の大量集落跡が姿をあらわしました。特に「古代農村の復元」として全国的にも有名になった遺跡です。縄文時代では中期に最も栄え、116軒もの竪穴建物跡が発見されています。



縄文ムラの復元(穂高連峰を望む)

文化財の



日本三大遺跡

遺跡に近い国道19号線沿いに「日本三大遺跡平出遺跡」の看板がありますが、茅野市の尖石遺跡(縄文時代)、静岡県の登呂遺跡(弥生時代)、そして平出遺跡(古代)が日本三大遺跡と呼ばれていました。このうちの2つが長野県の遺跡であることは誇りにしてよいのではないのでしょうか。

bunkazai no tubo

行って
みよう!



JR塩尻駅から徒歩20分。車では塩尻ICから10分。平成24年度に完成した平出史跡公園では、縄文の村、古代の農村(古墳時代地区)古代の農村(平安時代地区)の3つの時代の復元整備を行っています。公園内にはガイダンス棟が設置されています。史跡から歩いて数分のところには平出博物館があり、出土品をみることができます。



国史跡

やてがわいせき 矢出川遺跡 [南牧村]

～日本初の細石刃の発見～

平成7年指定

南佐久郡南牧村の野辺山高原のべやまこうげんに所在し、昭和28年に芹沢長介氏せりざわちやうすけと岡本勇氏おかもとゆう、由井茂也氏ゆいしげなりにより日本で初めて細石刃が発見された記念すべき旧石器時代末の遺跡です。細石刃に用いられた黒曜石は、近隣の八ヶ岳や和田峠産のものが中心でしたが、遠く200kmも離れた太平洋岸の神津島産こうづしまの黒曜石もみつかりました。

長野県内では唯一の旧石器時代の国史跡となっています。



出土した石器(細石刃と石核)



遺跡遠景 野辺山高原に遺跡は位置する

文化財の

細石刃

幅は1cm以下で、長さはその2倍以上という小形石器です。ちょうどカミソリの替刃のような形をしています。使用法も同様で、いくつかの刃を軸に装着して石器とする組み合わせ道具です。刃の取り替えができる合理的な石器として旧石器時代末に多く使用されました。



bunkazai no tubo



ゆい しげなり 由井 茂也(明治38年～平成16年)

川上村出身の考古学者。矢出川遺跡をはじめ佐久地域の多くの遺跡調査を行う。佐久考古学会会長を長く務める。文部省地域文化功労者表彰も受ける。

行って
みよう!



JR最高地点、小海線野辺山駅(標高1345m)から徒歩約20分。出土品は、駅前の南牧村美術民俗資料館で見学できます。



国史跡

とちばらいわかげいせき

栃原岩陰遺跡 [北相木村]

～縄文早期の岩陰遺跡～

昭和62年指定

南佐久郡北相木村栃原の相木川右岸に位置し、昭和40年に地元の興水利雄氏と新村薫氏により発見されました。その後、信州大学医学部が中心となって発掘調査が行われ、縄文時代早期を中心とした岩陰遺跡であることが判明しました。人骨12体分の他、獣骨や骨角器など、通常では残らない有機質遺物が数多く出土したことも注目されます。石鏃などの小型石器の多くは黒曜石製であり、その素材の黒曜石も多数出土します。星糞峠ほしくまとうげの原産地との関連が指摘されています。



岩陰は相木川の浸食で形成された



骨製刺突具(中央はシカの中手骨を利用)



黒曜石製の石鏃

文化財の



bunkazai no tubo

獣骨にはイノシシやシカの他、カモシカ、ニホンザル、ツキノワグマなどがみられ、サケ・マス類の魚類やタカラガイやツノガイ、ハイガイ、イモガイ等の海産貝類なども出土しています。

行って
みよう!



最寄りの駅は、JR小海線の小海駅だが、かなり距離があるため、自家用車がタクシーを利用するのがよい。出土品は北相木村考古博物館に展示している。



国史跡

おおみやまいせき

大深山遺跡 [川上村]

～標高1300mに栄えた縄文中期集落～

昭和41年指定

千曲川の源流、川上村大深山に所在し、標高約1300mという高所に位置しています。戦前から知られた遺跡でしたが、昭和28年から37年まで発掘調査が行われ、縄文時代中期の竪穴住居跡51軒などが発見されました。地元の大深山遺跡保存会が東京大学講師であった八幡一郎氏の指導を受けながら発掘調査及びその後の整備にあたってきたことは特筆できます。出土した遺物も豊富であり、なかでも人面香炉形土器と呼ばれる土器は必見です。



2棟の復元建物(八幡一郎氏から教えを受けた保存会員が定期的に屋根の葺替を行っている)



文化財の



縄文時代の国史跡

縄文時代の国史跡・縄文時代にかかわる本県の国史跡は本書掲載以外にも、佐野遺跡(山ノ内町)、成立石器時代住居跡(東御市)、寺ノ浦石器時代住居跡(小諸市)があります。

b u n k a z a i n o t u b o



人面香炉形土器



やはた いちろう
八幡 一郎(明治35年～昭和62年)

岡谷市出身の考古学者。東京大学講師、東京国立博物館考古課長、東京教育大学教授、上智大学教授などを歴任。日本考古学協会委員長も務める。本県での調査・指導も数多い

行って
みよう!

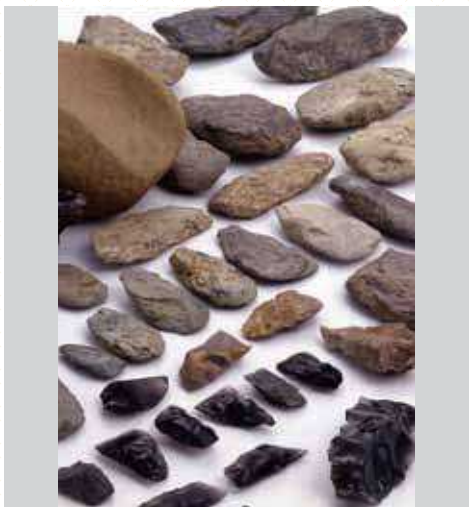


JR小海線信濃川上駅から徒歩50分。佐久ICから車で90分。出土品は川上村文化センターで見学できます。



重要文化財・登録有形文化財の出土品

旧石器・縄文時代の国重要文化財は、本県では6件が指定されています。この他、国の登録有形文化財になっているものが1件あります。



[重要文化財]日向林B遺跡出土品
長野県立歴史館所蔵

信濃町日向林B遺跡から出土し、後期旧石器時代前半期(約3万年前)の斧形石器60点、台形石器59点を含む多数の石器、石器製作の過程を示す接合資料や斧形石器を磨いた砥石等の石器製作具など202点が指定されています。

平成23年
指定



[重要文化財]神子柴遺跡出土品
伊那市創造館寄託

南箕輪村神子柴遺跡から出土し、旧石器時代の刃を磨いた局部磨製石斧等の他、黒曜石製尖頭器などの石器66点に剥片を含めた一括で指定されています。

昭和63年
指定



[重要文化財]藤内遺跡出土品
富士見町井戸尻考古館所蔵

ハケ岳山麓の縄文中期集落跡からの人の姿をかたどったような大型の筒形土器や、人あるいは蛙が踊るような文様を施した有孔鏝付土器など、装飾性に富んだ様々な文様が描かれた土器や石器199点が指定されています。

平成14年
指定



[重要文化財]川原田遺跡出土品
御代田町浅間縄文ミュージアム所蔵

浅間山南麓に営まれた縄文中期の集落跡から出土した一括資料で、渦巻き状の曲線と耳状の突起で、器面全体に躍動感あふれる装飾をする「焼町(やけまち)土器」など146点が指定されています。

平成11年
指定



[重要文化財]顔面把手付深鉢形土器
(岡谷市海戸遺跡出土) 市立岡谷美術考古館所蔵

岡谷市海戸遺跡から出土し、高さ43.8cmの土器で、内向きに顔が付く例が多いなか、この土器は外向きに顔が付いた数少ない優品です。

平成元年
指定



[重要文化財]顔面付釣手形土器
(伊那市御殿場遺跡出土) 伊那市創造館所蔵

伊那市富県御殿場遺跡出土。高さ39.5cmで内面にタールが付着しており、ランプなど照明のための土器と考えられますが、顔面は素朴・柔和で、神秘的です。

平成元年
指定

[登録有形文化財]
諏訪地域考古資料(藤森栄一蒐集品)
諏訪市博物館所蔵

平成24年登録

藤森栄一氏が蒐集した59628点にも及ぶ諏訪地域を中心とした考古資料で、諏訪湖湖底から発見された曾根遺跡出土品など、旧石器時代から縄文時代を主体としています。



文化財の

県宝指定の縄文土器

b u n k a z a i n o t u b o

富士見町札沢遺跡出土の動物装飾付釣手土器(長野県立歴史館所蔵)、飯山市山ノ神遺跡出土の魚形線刻画土器、富士見町曾利遺跡出土の縄文土器7点、宮田村の「中越遺跡出土品」は土器・石器等221点が、県宝に指定されています。



国宝・重要文化財の土偶

黒曜石が築いた「縄文の聖地」では遺跡だけではなく、出土品にも目を見張る優品が目白押しです。そのなかでも国宝・重要文化財に指定された3箇の土偶は必見です。



土偶「縄文のビーナス」(茅野市棚畑遺跡出土)
平成7年国宝指定

高さ27cm。縄文時代中期。手は省略されていますが腕は左右に広げられています。造形的にも見事な妊娠土偶です。



土偶「仮面の女神」(茅野市中ツ原遺跡出土)
平成26年国宝指定

高さ34cm。縄文時代後期。全身がほぼ完存する大形の中空土偶の優品で、顔に仮面をつけた姿を思わせる形である仮面土偶です。

**行って
みよう!**

「縄文のビーナス」と「仮面の女神」は尖石縄文考古館で、坂上遺跡出土の土偶は井戸尻考古館でみることができます。



土偶(富士見町坂上遺跡出土)
平成27年重要文化財指定

高さ23cm。縄文時代中期後半。両腕を広げ、顔面は斜上方を向いた姿勢で直立。胴体は長く作られ、腹部両脇と腰の部分には細かな線で文様が描かれています。造形に優れ、保存状態も良質な優品です。

黒曜石の研究機関

明治大学黒曜石研究センター

小県郡長和町大門3670-8 TEL.0268-41-8815

明治大学黒曜石研究センターは、日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設です。

「ヒト-資源環境系」という概念のもと、考古学だけにとどまらず、地質学、古環境学、文化財科学を横断する研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけの復元に取り組んでいます。さらに、センターを黒曜石研究の国際ネットワークの拠点とすべく、ヨーロッパ、東アジア、アメリカなど黒曜石研究を推進する関連機関との連携をすすめています。



蛍光X線分析装置による黒曜石の分析



古環境分析用試料の採取
この他、考古学調査、黒曜石の生成メカニズム等の研究を進めています。



黒曜石研究センター

展示

見学には**事前申し込みが必要**です。展示は1階多目的スペースのみであり、学術研究の成果のポスター展示となっています。一般向けの展示物の観覧ご希望の方には、隣接する黒曜石体験ミュージアム(次ページ参照)があります。





本文で紹介している遺跡・博物館

①長野県立歴史館

住所 〒387-0007 千曲市屋代清水260-6
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 一般300円、高・大学生150円、小・中学生70円
 休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
 電話 0260-274-2000

③浅間縄文ミュージアム

住所 〒389-0207 北佐久郡御代田町馬瀬口1901-1
 開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 一般・大学生500円、小・中・高校生300円(企画展時)
 休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
 電話 0267-32-8922

⑤南牧村美術民俗資料館

住所 〒384-1305 南佐久郡南牧村野辺山79-3
 開館時間 9:00~17:00
 入館料 大人300円、小・中学生250円
 休館日 月曜日、祝日の翌日、冬期(12~3月上旬) ※7~9月は無休
 電話 0267-98-3288

⑦諏訪市博物館

住所 〒392-0015 諏訪市中洲171-2
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 一般・高校生300円、小・中学生150円
 休館日 月曜日、祝日の翌日 年末年始(正月は1月1日から臨時開館)
 電話 0266-52-7080

⑨下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館

住所 〒393-0033 諏訪郡下諏訪町10616-111
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 大人350円、小人170円
 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、祝日の翌日、年末年始
 電話 0266-27-1627

⑪茅野市尖石縄文考古館

住所 〒391-0213 茅野市豊平4734-132
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 大人500円、高校生300円、小・中学生150円
 休館日 休館日:月曜日(休日の場合を除く)、年末年始、祝日の翌日(土・日の場合を除く)
 電話 0266-76-2270

⑬平出博物館

住所 〒399-6461 塩尻市大字宗賀1011-3
 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
 入館料 大人300円、中学生以下無料
 休館日 月曜日、祝日の翌日、年末年始
 電話 0263-52-1022

②星くすの里たかやま黒曜石体験ミュージアム

住所 〒386-0601 小県郡長和町大門3670-3
 開館時間 9:00~16:30
 入館料 一般300円、小・中学生100円
 休館日 月曜日(祝日、振替休日の場合はその翌日)、年末年始
 電話 0268-41-8050

④川上村文化センター展示室

住所 〒384-1405 南佐久郡川上村大字大深山348-9
 開館時間 9:00~17:00
 入館料 無料
 休館日 月曜日(祝祭日の場合、その日後の平日)、年末年始
 電話 0267-97-2000

⑥北相木村考古博物館

住所 〒384-1201 南佐久郡北相木村2744
 開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)
 入館料 大人(高校生以上)200円、小人(小・中学生)100円
 休館日 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は火曜日)・祝祭日の翌日、年末年始
 電話 0267-77-2111

⑧市立岡谷美術考古館

住所 〒394-0027 岡谷市中央町1-9-8
 開館時間 10:00~19:00
 入館料 おとな350円、子ども150円
 休館日 休館日:水曜日、祝日の翌日、年末年始(12月29日~1月3日)
 電話 0266-22-5854

⑩井戸尻考古館

住所 〒399-0101 諏訪郡富士見町境7053
 開館時間 9:00~17:00
 入館料 大人300円、小・中学生150円
 休館日 休館日:月曜日・祝日の翌日・年末年始(祝日は開館、祝日が月曜日の場合は開館、その翌日が休館)
 電話 0266-64-2044

⑫原村八ヶ岳美術館

住所 〒391-0115 諏訪郡原村17217-1611
 開館時間 9:00~17:00
 入館料 大人510円、小・中学生250円
 休館日 無休(展示替等による臨時休館あり)
 電話 0266-74-2701

⑭伊那市創造館

住所 〒396-0025 伊那市荒井3520番地
 開館時間 10:00~17:00
 入館料 無料
 休館日 火曜日、祝日の翌日、年末年始
 電話 0265-72-6220

記号	名称	所在地	紹介ページ	問い合わせ先	電話番号
①	星峯峠黒曜石原産地遺跡	長和町	8・9	黒曜石体験ミュージアム	0268-41-8050
②	星ヶ塔黒曜石原産地遺跡	下諏訪町	10・11	下諏訪町教育委員会	0266-27-1627
③	霧ヶ峰湿原植物群落	下諏訪町	12	諏訪市教育委員会	0266-52-4141
				諏訪湖博物館・赤彦記念館	0266-27-1627
④	駒形遺跡	茅野市	13	茅野市教育委員会	0266-76-2386
⑤	上之段石器時代遺跡	茅野市	14	茅野市教育委員会	0266-76-2386
⑥	尖石石器時代遺跡	茅野市	15	茅野市教育委員会	0266-76-2386
⑦	梨久保遺跡	岡谷市	16	岡谷市教育委員会	0266-23-4811
⑧	阿久遺跡	原村	17	原村教育委員会	0266-79-7930
⑨	井戸尻遺跡	富士見町	18	富士見町教育委員会	0266-64-2044
⑩	平出遺跡	塩尻市	19	平出博物館	0263-52-1022
⑪	矢出川遺跡	南牧村	20	南牧村教育委員会	0267-96-2104
⑫	栃原岩陰遺跡	北相木村	21	北相木村教育委員会	0267-77-2111
⑬	大深山遺跡	川上村	22	川上村教育委員会	0267-97-2000

